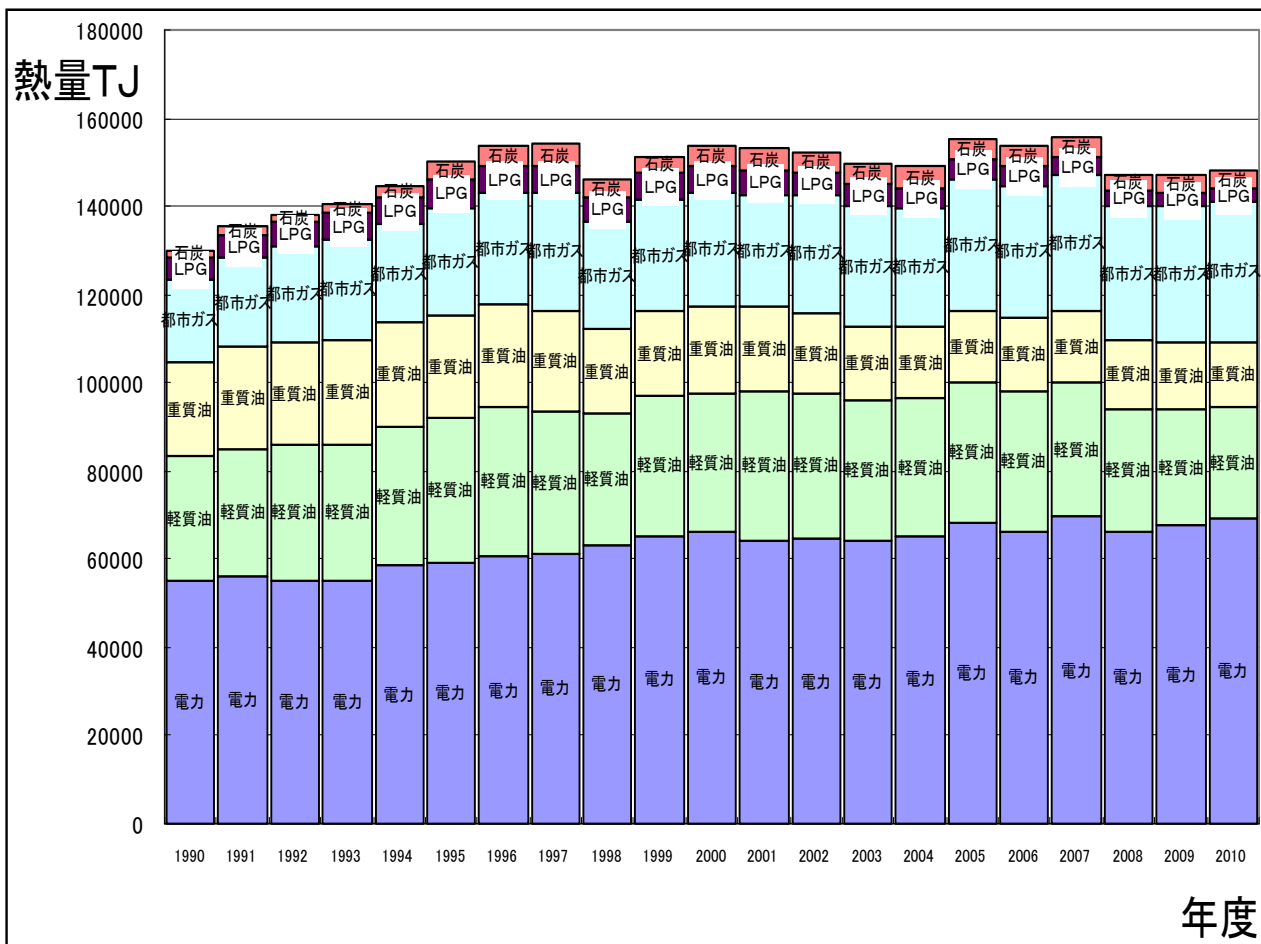


京都府のエネルギー関係データ

京都府内のエネルギー消費量の経年変化

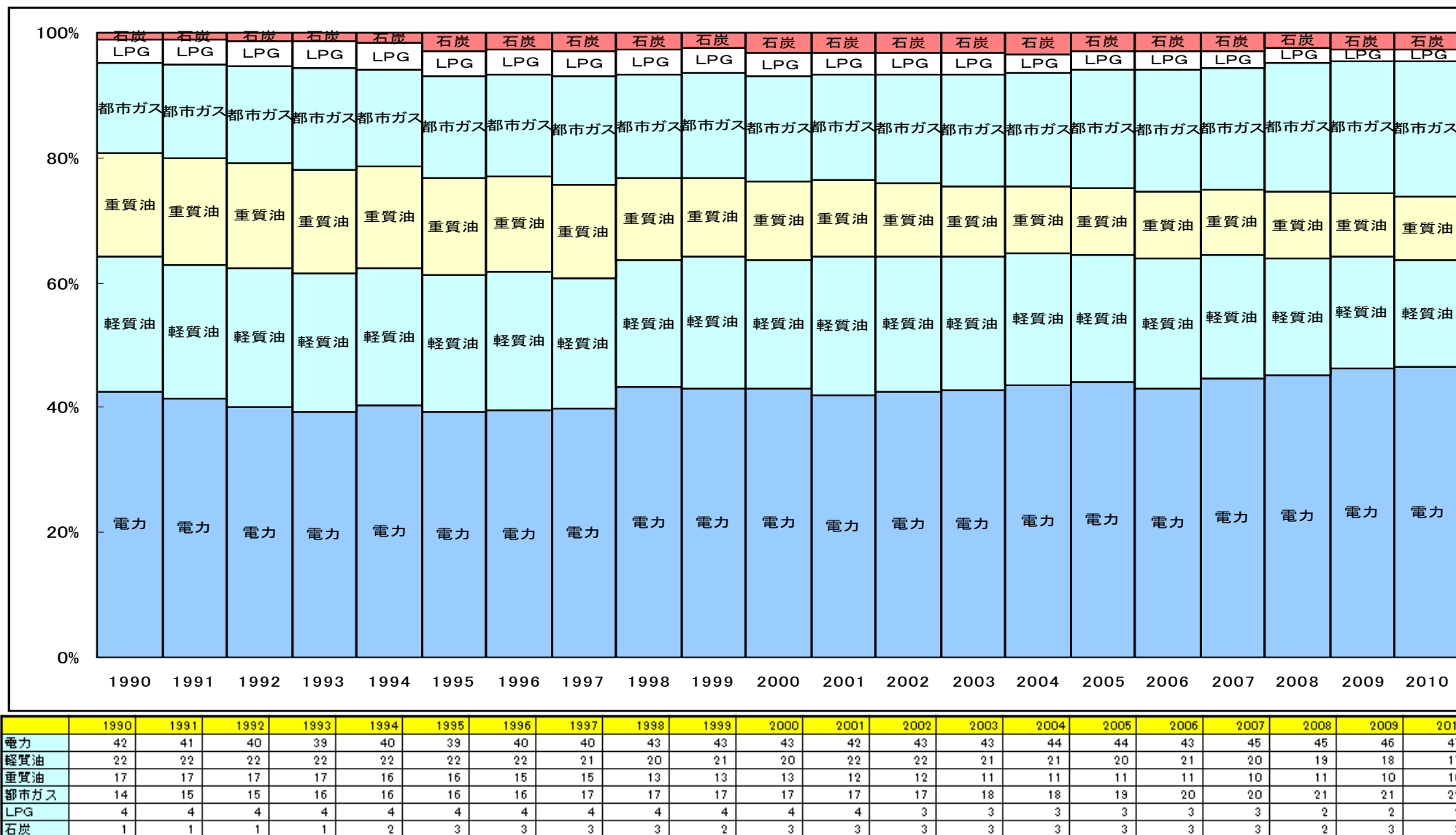
- エネルギー消費量は、90年代前半までは増加傾向であったが、それ以降は、横這い若しくは微減傾向。
- エネルギー種類毎の傾向は、石油が減少し、電力・ガスが増加傾向。



年度	電力	軽質油	重質油	都市ガス	LPG	石炭	合計
1990	55092	28098	21597	18556	5041	1317	129701
1991	56002	29157	22930	20217	5375	1600	135281
1992	55323	30614	23442	21388	5650	1778	138195
1993	55064	31076	23553	22845	5996	1818	140352
1994	58447	31594	23520	22419	6201	2324	144505
1995	59068	32794	23457	24384	6287	4245	150235
1996	60736	33933	23369	25154	5981	4303	153476
1997	61225	32281	23022	26762	6113	4603	154006
1998	63313	29642	19176	24186	5991	3840	146148
1999	65127	31983	18955	25488	6062	3652	151267
2000	66229	31485	19475	25971	5856	4741	153757
2001	64346	33946	18846	25558	5468	4946	153110
2002	64918	32808	18144	26553	5119	4872	152414
2003	64210	31929	16836	26855	5151	4919	149900
2004	65046	31440	16191	26902	4579	5024	149182
2005	68336	31651	16428	29554	4549	4606	155124
2006	66214	31773	16609	30041	4339	4621	153597
2007	69582	30744	16160	30732	4068	4570	155856
2008	66396	27614	15587	30519	3427	3570	147113
2009	67907	26312	15107	30808	2710	4089	146933
2010	69086	25241	14944	31956	2838	4055	148120

出典 資源エネルギー庁HP都道府県別エネルギー消費統計

京都府内の消費エネルギー構成比率の経年変化

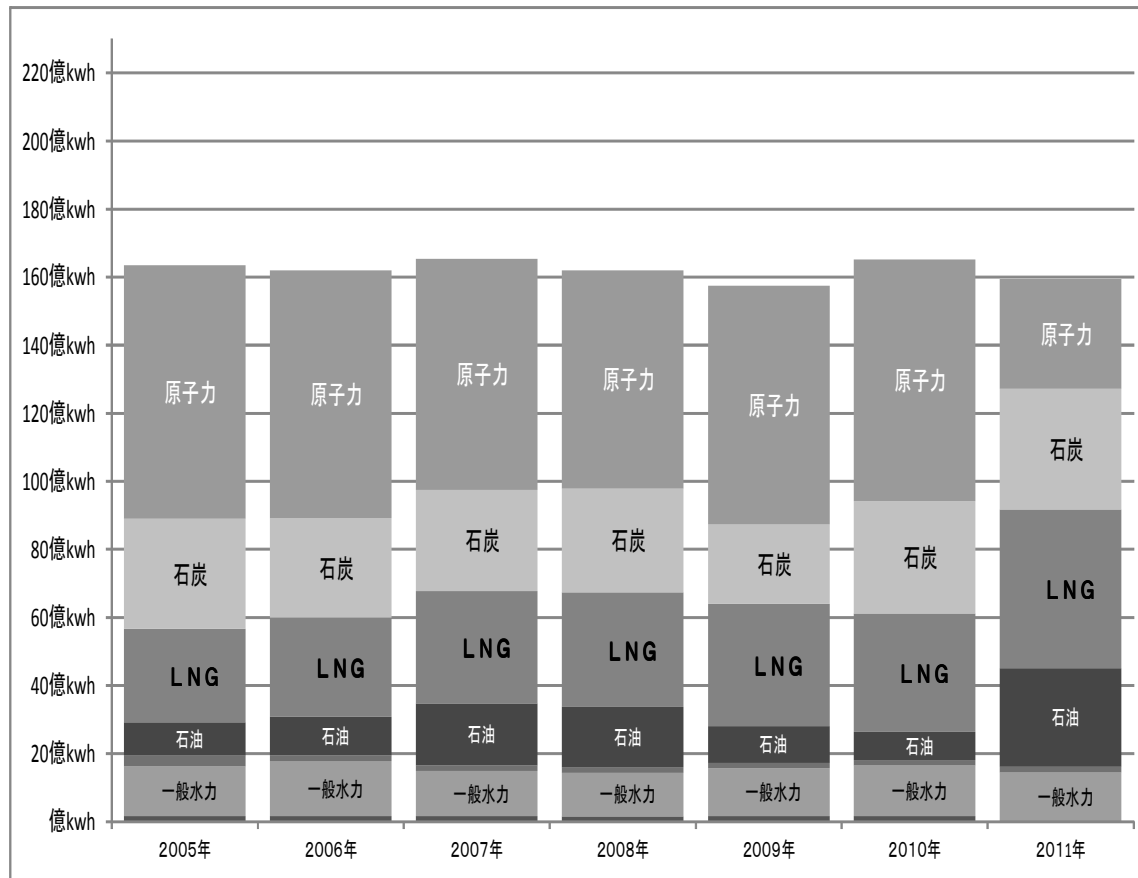


出典 資源エネルギー庁HP都道府県別エネルギー消費統計

京都府内の販売電力量構成の推移

- 関西電力(株)による京都府内への販売電力量は年間約160億kwhで推移している。
- 電源構成では、昨年度、原子力の割合が減少し、LNGや石油の割合が増加した。

販売電力量実績推移



	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
新エネ	2	2	2	2	2	2	2
一般水力	15	16	13	13	14	15	14
揚水	3	2	2	2	2	2	2
石油	10	11	18	18	11	8	29
LNG	28	29	33	34	36	35	47
石炭	32	29	30	30	23	33	35
原子力	74	73	68	64	70	71	32
総計	162	162	165	160	156	165	161

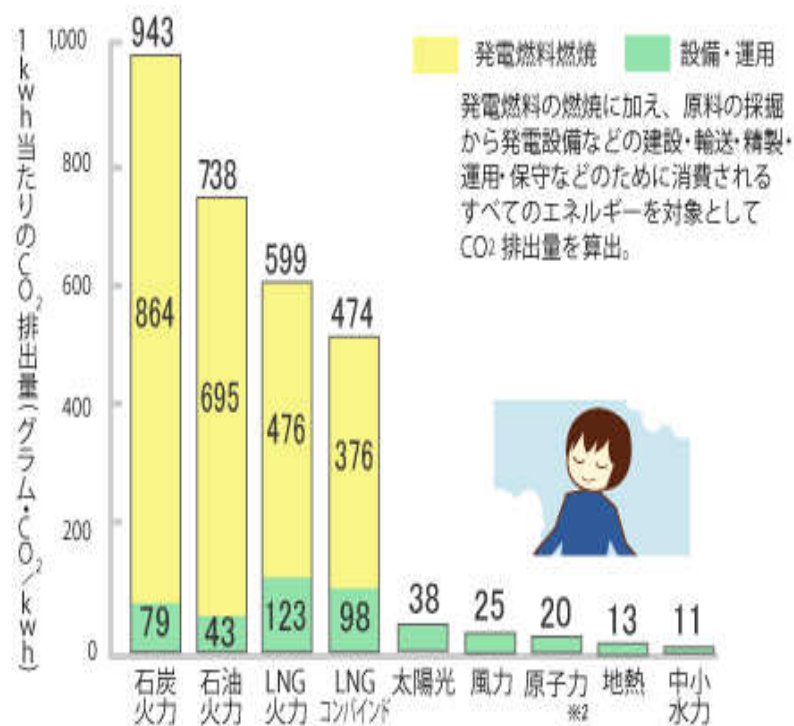
出典：関西電力グループ経営計画

(単位: 億kWh)

各種電源別のCO2排出量とコスト

- 電源構成の検討に当たっては、環境性＝CO2排出量、経済性＝発電コストに加えて、安心安全を考慮することが必要。
- CO2排出量では、原子力と再生可能エネルギーはほぼ同等。
- 発電コストでは、太陽光、小水力をはじめとして、再生可能エネルギーは比較的高額。

CO2排出量 g / kWh



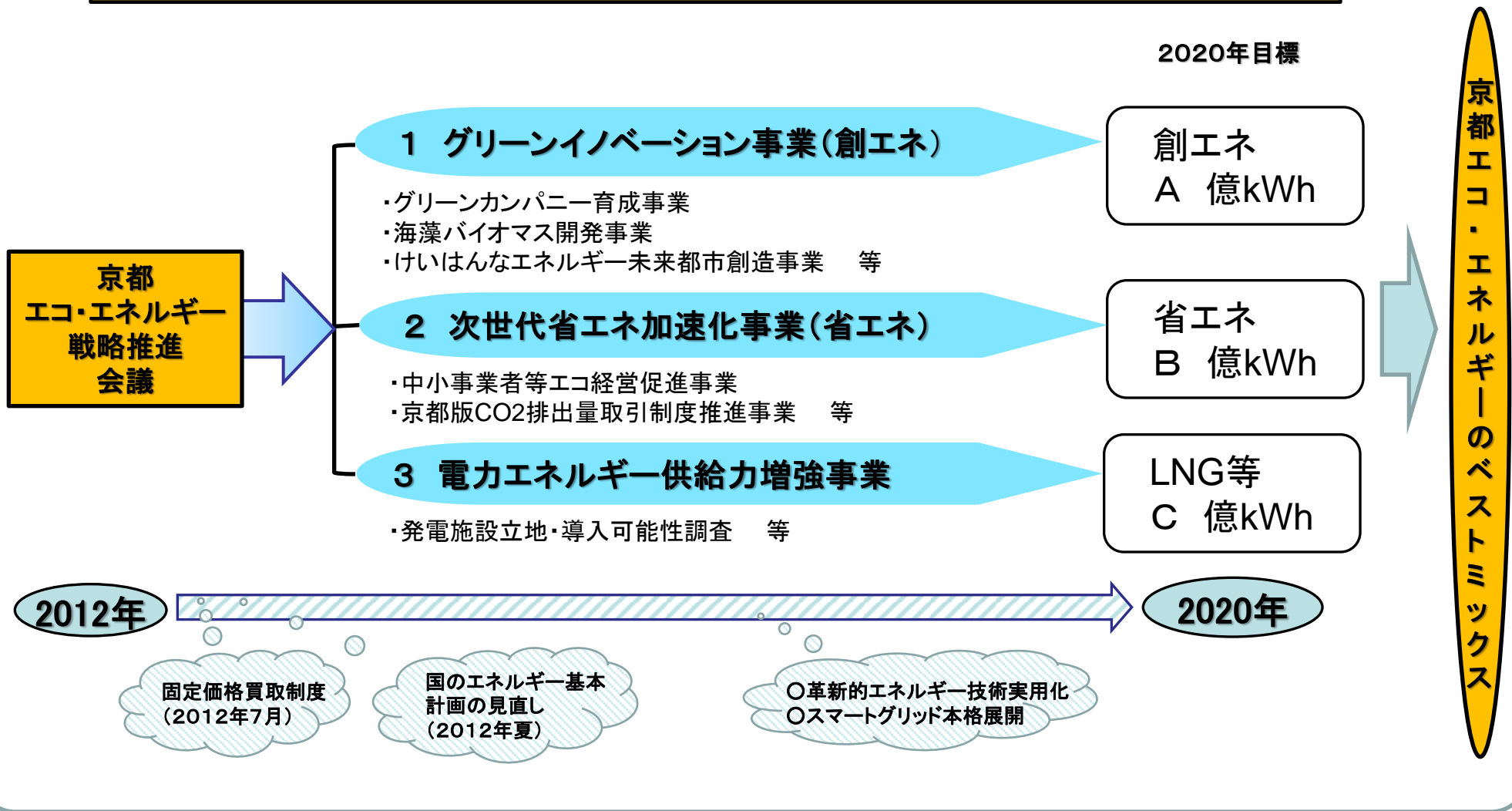
出典：電力中央研究所報告（平成22年8月）

発電コスト 円 / kWh

電源	2004年試算	2010年モデル
原子力	5.9	8.9以上*事故費用不確定
石炭火力	5.7	9.5~9.7
LNG火力	6.2	10.7~11.1
石油火力	10.7	20.8~22.4
一般水力	16.5	10.6
陸上風力	-	9.9~17.3
洋上風力	-	9.4~23.1
地熱	-	9.2~11.6
太陽光(メガソーラー)	-	30.1~45.8
小水力	-	19.1~22.0
バイオマス(木質専焼)	-	17.4~32.2

出典：コスト等検証委員会報告（平成23年12月）

京都エコ・エネルギー戦略のイメージ



▶ 2020年 関西電力管内原発7基が稼働40年経過（運転停止） → 府内で40億kWh相当の影響